施策2・1 生活環境の充実

施策のねらい

市民の割合

市民が快適に暮らせる生活環境を確保します。

施策の成果指標(施策の目的達成度を示す指標)

◇快適な生活環境が整っていると思う

 単位
 基準年度 現状値
 平成 24 年度 目標値
 指標 分類

 %
 40.1
 成果

生活環境が快適であるかを見る指標です。市民アンケートで、快適な 生活環境が整っていると「思う」「やや思う」と回答した市民の割合で す。

◇生活環境に関する苦情件数

件 — 580 成果

市民からの生活環境に関する苦情件数です。

◇航空機騒音を不快に感じる市民の 割合 % 96.1 % 成果

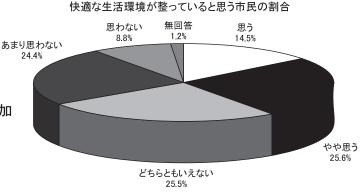
航空機騒音への不快感を見る指標です。第1種区域の世帯を対象にしたアンケートで、航空機騒音を「非常にうるさい」「うるさい」「時々うるさい」と回答した市民の割合です。

<u>※この目標値表示は、「航空機騒音を不快に感じる市民の割合」を少なくすることを示しています。</u>

施策をとりまく環境変化

不法投棄件数 (産業廃棄物): (17 年度 22 件→18 年度 23 件)

- ⊕ ポイ捨ての増加
- サ 生活公害(騒音、悪臭、水質汚濁)苦情の増加(17 年度 22 件→18 年度 44 件)
- ⊕ 空き地の雑草や犬猫の糞などの苦情の増加
- ◆ 予想される成田発着便数の増加(平成 18 年 19 万回/年→平成 21 年 22 万回/年)



基本事業名

基本事業のねらい

基本事業の成果指標(基本事業の目的達成度を示す指標)

基本事業 2 - 1 - ① 生活公害の対策

●生活公害に対する意識が高まり、生活 公害が減少します。

- ◆騒音・悪臭・水質汚濁苦情件数
- ◆犬 猫管理苦情件数
- ◆野焼き苦情件数
- ◆空き地の管理(雑草等) 苦情件数

基本事業 2 - 1 - ② 美化運動の推進と不法投 棄防止対策

- ●不法投棄防止に対する意識が高まるとともに、美化運動を推進されます。
- ◆産業廃棄物不法投棄件数
- ◆一般廃棄物等不法投棄件数
- ◆ごみゼロ運動参加者数

基本事業 2 - 1 - ③ 航空機騒音等の対策

- ●地域住民の騒音による生活公害が軽減します。
- ◆航空機騒音対策に対する満足度





用語解説

◆第1種区域 : 騒防法第8条の2の規定により、75WECPNL以上の区域です。

(WECPNL: 航空機騒音の強度、発生の回数及び時刻等を考慮し

た、騒音のうるささの単位です。)

施策2- 2 廃棄物の減量・処理の適正化

施策のねらい

◇再資源化率

ごみ排出量が減り、適正に処理されます。

施策の成果指標(施策の目的達成度を示す指標)

◇1人1日当たりのごみ排出量

単位	基準年度	平成 24 年度	指標
	現状値	目標値	分類
g	681	621	成果

市民1人が1日にどれだけのごみを出しているかを見る指標です。2つの組合の年間ごみ収集量を基に算出します。

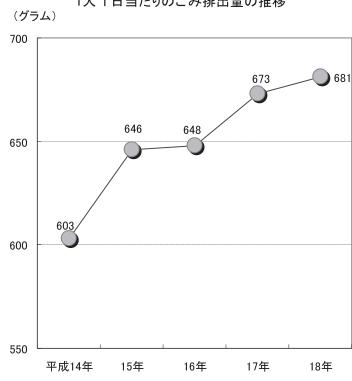
% 18.1 21.5 成果

廃棄物の再資源化率を見る指標です。廃棄物の総排出量のうち、リサイクル化などにより、再資源化を図った総量の1年間の割合です。

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 合併により、2つの組合が存在
 - 1 東金市外三市町清掃組合:成東地区
 - 2 山武郡市環境衛生組合:蓮沼地区・松尾地区・山武地区
- ◆ 一般家庭ごみの不法投棄件数が増加
- サごみの排出量が増加
- ◆ 容器包装リサイクル法の改正 (容器包装廃棄物の排出抑制の促進及び 質の高い分別収集・再商品化の推進)

1人 1日当たりのごみ排出量の推移



基本事業名

基本事業のねらい

基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)

基本事業 2 - 2 - (1) ごみの減量化の推進

●ごみの排出が抑制されます。

◆家庭ごみ排出量

◆事業系ごみ排出量

基本事業 2 - 2 - ② 再資源化の推進

●再資源化が推進されます。

◆回収資源化量

基本事業 2 - 2 - ③ 廃棄物に関する意識の向 上と啓発

●適正なごみの排出と3R意識の向上 が図られます。

◆ごみ排出指導件数 ◆残置シール貼付件数

基本事業 2 - 2 - 4 ごみ処理の効率化

● 3 Rが進み、両組合への負担金額が軽 | ◆ 1 人当たりの負担金額 減されます。

(収集料金・ごみ袋代金を含む)



用語解説

: 廃棄物の発生抑制 (Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)の3つ **♦**3R

のRを進める取組みです。

◆残置シール :家庭ごみの排出が不適正で、収集を行わないごみ袋に貼るシールです。

施策のねらい

市民や企業による自然環境保護の取組みや地球に負荷を与えない行動が定着化し、市の豊かな自然環境を保全します。

施策の成果指標(施策の目的達成度を示す指標)

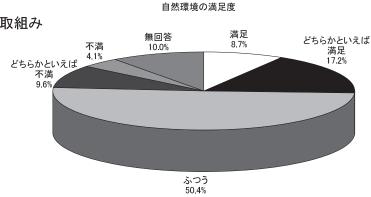
◇自然環境の満足度

単位	基準年度	平成 24 年度	指標
	現状値	目標値	分類
%	76.3	\rightarrow	成果

市民の自然環境に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、 自然環境について「満足している」「やや満足している」「ふつう」と 回答した市民の割合です。

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 化石燃料などの大量消費による地球温暖化
- ⊕ 生態系の変化や自然環境の破壊により、めだか、 ホタルの減少
- 母 林業者不足による山林の荒廃
- ⊕ 県、民間と共同でのバイオマスへの取組み
- ⇒ 海流の変化によるものと思われる一部海岸地域の浸食



基本事業名

基本事業のねらい

基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)

基本事業 2 - 3 - (1) 自然環境保全活動の推進

- ●地域ぐるみで自然環境保全活動が実 践され、定着化し、地球環境保全が推進 されます。
- ◆自然環境保全活動に参加している団体 数

基本事業 2 - 3 - ② 自然環境取組み意識の向

- ●自然の大切さや環境保全の重要さが 認識され、自然環境取組み意識が向上し ます。
- ◆環境にやさしい生活をしている市民の
- ◆環境学習参加団体数

基本事業 2 - 3 - (3) バイオマスタウン構想の 推進

- ●バイオマスの利活用により自然環境 を保全します。
- ◆バイオマスに関する取組みの事業数



用語解説

◆バイオマス

: 生物資源 (バイオ: Bio) の量 (マス: Mass) をあらわし、エネルギ

一源として再利用できる動植物から生まれた有機性の資源の ことです。具体的には、農林水産物、稲わら、もみがら、食品

廃棄物、家畜排せつ物、木くずなどを指します。

◆バイオマスタウン構想:地域のバイオマスの総合的かつ効率的な利活用を図るため、市

町村などが作成する構想です。

施策2-4 上水道の充実

施策のねらい

市民が安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果指標(施策の目的達成度を示す指標)

	単位	基準年度 現状値	平成 2 4 年度 目標値	指標 分類	
◇給水戸数【市営水道】	戸	2,051	2,800	成果	
	市営水道の給水区域内の水道使用者の増減を見る指標です。				
◇給水戸数【広域水道】	戸	10,599	10,800	成果	

広域水道の給水区域内の水道使用者の増減を見る指標です。

施策をとりまく環境変化

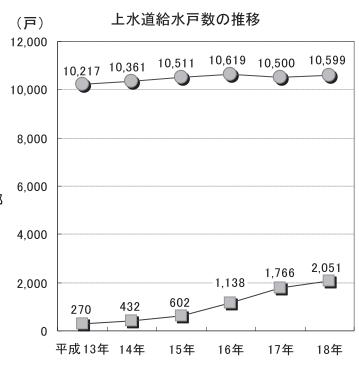
◆ 合併後の水道:3地区の混在

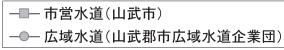
 市営水道事業: 山武地区の一部

2 広域水道事業:

蓮沼地区 · 松尾地区 · 成東地区

3 水道事業対象外地区:山武地区の一部





基本事業名

基本事業のねらい

基本事業の成果指標(基本事業の目的達成度を示す指標)

基本事業 2 - 4 - ① 安定給水の確保

●安定的に水道水が使用できます。

◆漏水事故件数【市営水道】

◆漏水事故件数【広域水道】

基本事業 2 - 4 - ② 水質の安全性の確保

●衛生的で安全な水道水が使用できます。

◆水質の苦情件数【市営水道】

◆水質の苦情件数【広域水道】

基本事業 2 - 4 - ③ 地震等の災害対策

●地震等の災害時において、応急給水が 受けられます。 ◆応急給水資機材の備蓄数【市営水道】

◆応急給水資機材の備蓄数【広域水道】

基本事業 2 - 4 - ④ 経営の健全化

●事業経営の健全化に努めることにより、安定的に給水が受けられます。

◆経常収支比率【市営水道】

◆有収率【市営水道】

◆経常収支比率【広域水道】

◆有収率【広域水道】





用語解説

◆経常収支比率:経常収益の経常費用に対する割合で、この数値が100%以上であること

が望ましいこととされています。

◆有収率 : 給水量に対する、料金徴収の基礎となる使用水量の割合です。有収率が高

いほど、効率的で好ましい状態とされています。

施策2- 5 汚水処理の推進

施策のねらい

公共用水域の汚濁を改善させ、生活環境の向上を図ります。

施策の成果指標(施策の目的達成度を示す指標)

◇BOD 濃度

作田川 (中流域)

◇BOD 濃度 木戸川(下流域)

◇汚水処理世帯の普及率

 単位
 基準年度 現状値
 平成 24 年度 目標値
 指標 分類

 mg/I
 1.8
 1.8
 成果

作田川の汚れを見る指標です。この数値が大きくなると水質が悪くなります。

mg/I 2.5 2.0 成果

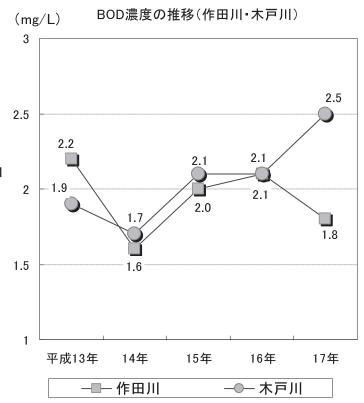
木戸川の汚れを見る指標です。この数値が大きくなると水質が悪くなります。

% 35.0 40.0 成果

市内全世帯のうち、農業集落排水加入世帯及び合併処理浄化槽設置世 帯の割合です。

施策をとりまく環境変化

- 財源などの問題により進まない社会資本整備
- ⊕ 農業集落排水事業の実施
- 維持管理が行われていない浄化槽の増加



基本事業名

基本事業のねらい

基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)

基本事業 2 - 5 - (1)

合併処理浄化槽による水 質改善

●合併処理浄化槽への切り替えにより、 公共用水域の水質改善が進みます。

- ◆単独処理浄化槽からの切り替え件数
- ◆し尿処理取扱い戸数

基本事業 2 - 5 - ② 農業集落排水による水質 改善

●農業集落排水により、公共用水域の水質改善が進みます。

◆農業集落排水の接続率



用語解説

◆BOD (生物化学的酸素要求量): 微生物が、水中の有機物を酸化分解するのに必要な酸素量です。

水質汚濁の指標として用いられています。

◆農業集落排水事業 : 農業用水の水質保全と農村生活の環境改善を目的とした下水道事

業です。

施策2-6 防犯対策の充実

施策のねらい

犯罪がおきにくく、安全なまちになっています。

施策の成果指標(施策の目的達成度を示す指標)

◇人口 1,000 人当たりの刑法犯認知件数

 単位
 基準年度
 平成 24 年度
 指標

 現状値
 目標値
 分類

 件
 17
 社会

1年間に市内で発生した刑法犯認知件数を人口 1,000 人当たりに置き換えて算出した件数です。

◇安全で安心して住めると思う市民の 割合

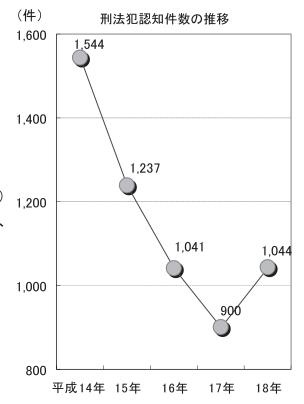
市民の防犯意識について見る指標です。市民アンケートで、安全で安心して暮らせるまちだと思うかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策をとりまく環境変化

- ◆ 子どもが犯罪被害者となる事件が増加
- ① 犯罪発生場所のうち約5割が道路、公園、駐車場、駐輪場などで発生(千葉県:平成18年)
- 刑法犯認知件数が10年前と較べ増加しているが、平成14年度をピークに減少。

(山武市:平成7年610件→平成18年1,044件)

◆ 防犯設備(防犯灯)の設置要望が増加



基本事業名

基本事業のねらい

基本事業の成果指標(基本事業の目的達成度を示す指標)

基本事業 2 - 6 - ① 地域ぐるみの防犯体制の 充実

●地域住民一体となった防犯活動が展開され、犯罪がおきにくくなっています。

- ◆防犯活動を行っている団体数
- ◆防犯活動を行っている区会、自治会の割 合

基本事業 2 - 6 - ② 児童・生徒の安全確保

●学校・家庭・地域が連携し、児童生徒 の事件・事故を未然に防いでいます。

◆登下校時における児童生徒の事件・事故 件数

基本事業 2 - 6 - ③ 犯罪がおこりにくい環境 に向けての施設設備の整 備

●犯罪をおこそうとする者に犯罪の機 会を与えない施設設備となっています。 ◆防犯灯設置要望対応率

◆改善要望のある施設設備(道路、公園、 駅前などの駐車場、駐輪場、学校など)に 対する改善実施率

基本事業 2 - 6 - ④ 防犯意識の向上

●防犯に対する市民の知識や意識が向上し、犯罪に巻き込まれにくくなっています。

◆犯罪に対する備えを行っている市民の 割合

基本事業 2 - 6 - ⑤ 消費者トラブルの防止

●賢い消費者が増え、消費者トラブルが 減少しています。

◆消費者相談件数

◆消費者トラブルにあった市民の割合





施策2- 夕 交通安全対策の推進

施策のねらい

交通事故が少なくなり、死傷者数が減少します。

施策の成果指標(施策の目的達成度を示す指標)

◇人口 1,000 人当たりの交通事故発生件 数
 単位
 基準年度
 平成 24 年度
 指標

 現状値
 目標値
 分類

 件
 5.3
 5.0
 成果

1年間に市内で発生した交通事故件数を人口 1,000 人当たりに置き 換えて算出した件数です。

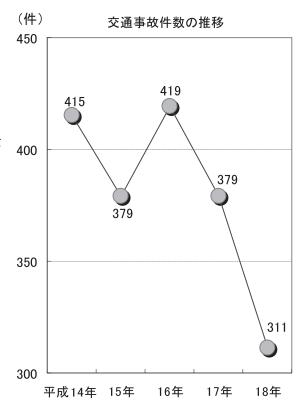
◇人口 1,000 人当たりの交通事故死傷者 数

人 6.8 5.0 成果

1年間に市内で発生した交通事故による死傷者数を人口 1,000 人当 たりに置き換えて算出した人数です。

施策をとりまく環境変化

- 申 県内は7年連続交通事故死者数が減少傾向。 ただし、交通事故死者数に占める高齢者割合が 38.7%(平成18年)と年々増加傾向 市内の交通事故件数も減少傾向 (平成14年415件→平成18年311件)



基本事業名

基本事業 2 - 7 - ① 交通安全意識の向上

基本事業 2 - 7 - ② 交通安全施設の整備

基本事業のねらい

基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)

- ●市民一人ひとりの交通安全意識が高 まり、交通マナーが守られます。
- ◆交通違反件数
- ◆シートベルト着用率
- ●交通安全施設が適正に管理・整備され、事故がおきにくくなります。
- ◆交通安全施設の改善・設置に対する要望 対応率

